

2021 年度 日本色彩教育研究会第 1 回理事会

議事録

日 時：2021 年 6 月 19 日(土) 20:00～21：40

場 所：オンライン会議 (ZOOM)

出席者：理事 24 名(委任状 2 名を含む／理事総数 24 名)

監事 2 名 (委任状 1 名を含む)

議題

会長挨拶

新理事(候補)紹介

第 1 号議案 新理事承認の件

全員異議無く承認。

第 2 号議案 会長及び副会長選任の件

全員異議無く承認。

第 3 号議案 2020 年度事業報告及び収支決算承認の件

全員異議無く承認。

第 4 号議案 2020 年度監事会計監査の報告

水島監事から監査報告が行われ、適法正確であることが報告された。

第 5 号議案 2021 年度事業計画及び収支予算承認の件

事業計画、収支予算ともに全員異議なく承認された。

第 6 号議案 その他

・夏期研修会について

九州色彩教育研究会の収入内訳のうち色研本部搬出金を 80,000 円としているが、実際の費用は予算額より多くなると予想されるため、本部の支部研修会助成費の予算額と同じ 100,000 円に修正する。

近畿色彩教育研究会の夏期研修会の内容および収支予算は現在検討中であり、夏休み中の開催は難しい状況。オンライン講習が可能な外部講師を調べ中。決まり次第報告する。

- ・機関紙の位置づけについて

現在刊行している「色彩教育」は会員を対象とした機関紙としての位置づけであるが、今後対象を一般に広げた雑誌として展開するか、あるいは研究誌とするのか、という「色彩教育」の性格付けを行う必要があり、今後詰めていきたいという要請が穴澤理事からあった。

- ・会の活性化について

- 1) 口コミや SNS を用いた広報活動

SNS 等を用いて活動内容を広く発信することが効果的であると、複数の理事から発言があった。

- 2) イベント、展覧会での広報活動

名取初穂理事より、毎年うらわ美術館で開催する「はみ出す力展」をサポートしているが、そこで機関紙やテキストを見本で置くなどして美術教育に関心が高い教員向けに広報してはどうかとの提案があった。

- 3) 表現者の視点に立ったコンテンツを取り上げる

後藤副会長より、芸術やデザインの表現者を対象とした内容を取り上げることで「研究会」という名からハードルの高さを感じずに集まってもらえるのではないかと提案があった。

- ・その他

会の活性化、会員拡大について審議した内容を確認し、20 時 40 分に閉会した。

報告事項

- ・会勢報告

赤木理事より会勢報告が行われた。会員数が 100 名を割っているため、会の存続には会員拡大が急務である。

以上

2020 年度事業報告

自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日

1. 刊行物

(1) 新「色彩教育」 2020 Vol.39 No.1・2 合併号

特集『コロナウイルス禍の色彩教育—オンラインで色彩は学べるか—』 2021 年 3 月 31 日発行

(2) 副読本「色彩ワークショップ」の刊行 5 月 1 日発行

2. 集会

(1) 第 70 回本部研修会

オンライン色彩講座「ワークショップで学ぶ色彩：『色彩ワークショップ』を使用した色彩学の基理論と日本の色彩文化」

<プログラム>

第 1 回 色彩をワークショップで学ぶ、その意味

- ・日時：2020 年 8 月 18 日（火）19：00～20：30
- ・講師：茂木一司（日本色彩教育研究会会長・群馬大学教授）、今回の担当講師全員
- ・内容：「ワークショップ」の学びとは何か？自分の身の回りのものでつくる色相環ワークショップを通して、色彩の基礎（色の三属性、色相環、色立体など）を学び、自分の色の嗜好に気づく。

第 2 回 PCCS のトーンを学ぶ

- ・日時：2020 年 8 月 20 日（木）19：00～20：30
- ・講師：赤木重文（日本色彩研究所）
- ・内容：PCCS は色の調和やイメージの表現を実践するために開発された色相とトーンによる分かりやすいカラーシステムです。ここでは PCCS の構造を学び、カードによって色彩調和を体験します。

第 3 回 混色と色遊びへの展開

- ・日時：2020 年 8 月 25 日（火）19：00～20：30
- ・講師：手塚千尋（明治学院大学講師）
- ・内容：減法混色と加法混色の基礎を学びます。ワークショップでは、混色の原理を生かした色遊びを通して手元に広がる色の世界を味わいます。

第 4 回 環境と色彩

- ・日時：2020 年 8 月 27 日（木）19：00～20：30
- ・講師：大内啓子（日本色彩研究所）
- ・内容：自宅のお気に入りの場所を探し、そこにある色彩をよく観察し、カラーカードで再現してみます。どのような色の構成になっているのか、そこからどのような印象が得られるのかをまとめてみましょう。

第 5 回 かさねの色目にみる日本人の色彩感覚

- ・日時：2020 年 9 月 1 日（火）19：00～20：30
- ・講師：下原美保（関西学院大学教授）
- ・内容：四季の移ろいを繊細な感覚でとらえた日本古来の「かさね」の色目。ワークショップでは、五感を研ぎ澄ませながら、心に残った思い出を「かさね」の色目で表現します。

参加者：28 名

会員 9 人、新規入会者 3 人、一般 4 人、学生 4 人、テキスト採用者 1 人

講師・スタッフ 7 人

(2)近畿色彩教育研究会

新型コロナウイルス蔓延のため中止

(3)九州色彩教育講習会

新型コロナウイルス蔓延のため中止

3. 会議

(1)第1回理事会

2020年5月30日(土)20:00～21:30 オンライン開催

議題：2019年度事業報告及び収支決算 監査報告

2020年度事業計画及び収支予算

研究会の活性化について

夏期研修会

その他

支部報告

議事結果：全員異議なく承認

(2)総会

新型コロナウイルス蔓延のため中止

(3)事務局会議

メールにて適宜実施。

4. 研究会・部会 活動

(1)編集委員会

新色彩教育 2020Vol.39 No.1・2 合併号の企画、取材、座談会、原稿執筆依頼、編集 制作を茂木会長、穴澤編集長を中心に実施。

①岩本紅葉さん(美術科・新宿区立富久小学校図工主任)インタビュー

実施日：10月19日

参加者：茂木会長、郡司理事、穴澤編集長参加

②オンライン座談会「コロナウイルス禍の色彩教育」

実施日：12月1日

参加者：茂木会長、下原氏(関西学院大学教授、大内理事、名取理事、手塚理事、赤木理事

司会：穴澤編集長

(2)教材部会

「色彩ワークショップ」編集委員会

メールで適宜実施

5月1日刊行

(3)企画委員会

オンライン研修会、準備、実施。

(4)広報委員会

HPの更新を適宜実施

□2020 年度本部収支決算書

2020年度 日本色彩教育研究会 収支計算書				
(2020年4月1日～2021年3月31日)				
1. 収入の部				単位：円
	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会費	600,000	504,000	▲ 96,000	正会員 62名×5,000円、11名×10000円、6名×13000円、 準会員 4名×1000円、1名×2000円
賛助会費	1,120,000	700,000	▲ 420,000	日本色研事業株式会社60万、日本色彩研究所10万
研修会参加費(中央研修会)	0	136,200	136,200	参加者19名
イベント参加費	15,000	0	▲ 15,000	
販売収入	1,500	0	▲ 1,500	機関誌販売なし
広告掲載料	20,000	12,000	▲ 8,000	日本文教出版
雑収入	10	5	▲ 5	受取利息 三菱UFJ銀行
当期収入合計 (A)	1,756,510	1,352,205	▲ 404,305	
前期繰越金	1,568,992	1,568,992	0	
収入合計 (B)	3,325,502	2,921,197	▲ 404,305	
2. 支出の部				単位：円
	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業費	690,000	546,643	▲ 143,357	
機関誌等発行費	500,000	388,828	▲ 111,172	色彩教育Vol.39印刷費等。(vol38執筆者2名への謝礼含む)
研修会開催費 中央研	0	128,885	128,885	講師謝金(光島先生1万円込み)
イベント開催費	100,000	0	▲ 100,000	
支部研修会助成費	0	0	0	20年度のみ助成金なし
広報費	60,000	28,930	▲ 31,070	HPドメイン更新料、サーバー使用料
委員会活動費	30,000	0	▲ 30,000	
管理費	114,000	3,080	▲ 110,920	
印刷費	10,000	0	▲ 10,000	
運搬通信費	45,000	3,080	▲ 41,920	振込手数料
会議費	50,000	0	▲ 50,000	
事務局交通費	2,000	0	▲ 2,000	
備品消耗品費	1,000	0	▲ 1,000	
委託作業費	6,000	0	▲ 6,000	事務会計処理代・会費請求・機関誌発送・名簿管理
雑費	0	0	0	
予備費	15,000	0	▲ 15,000	
当期支出合計 (C)	819,000	549,723	▲ 269,277	
当期収支差額 (A)-(C)	937,510	802,482	▲ 135,028	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,506,502	2,371,474	▲ 135,028	
合 計	3,325,502	2,921,197	▲ 404,305	
3. 資産の部				
三菱UFJ銀行 普通口座		909,554		
郵便局		1,461,805		
現金		115		
合 計		2,371,474		

□監査報告書

監査報告書

会長提出の 2020 年度（2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで）における収支決算書
について監査した結果、その適法正確であることを認めます。

2021 年 6 月 6 日

日本色彩教育研究会

監事

水島 尚喜



監事

松田 陽子



2021 年度事業計画（案）

自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日

1.刊行物

(1) 新「色彩教育」2021 Vol. 40 1・2 合併号 を編集・発行する。

2.集会

中央（東京）・近畿支部・九州支部ともにオンラインによる夏期研修会を実施する。

3.総会の開催

第 8 回総会を開催する。開催方式についてはオンラインやメールによる総会も視野に入れて検討。

4.委員会・部会 活動

(1) 編集委員会

「色彩教育」の制作を進める。

(2) 教材部会

「色彩ワークショップ」第 2 弾のとして幼児を対象とした副読本「はじめての色彩」の企画を進める。

(3) 企画委員会

オンライン夏期研修会の開催に向けた企画について検討する。

特別イベント見学会およびオンライン研修会の企画について検討する。

(4) 広報委員会

HP の更新を適宜実施

5.会議

定例理事会を 2 回（オンラインやメールによる理事会を含む）、他に必要に応じてメールによる臨時理事会を開催する。

6.その他

①会員獲得に向けた活動を行う。

②関連学協会との連携を深め、会の活動を広く周知させる。

□2020 年度予算書（案）

2021年度 日本色彩教育研究会 予算書(案)				
(2021年4月1日～2022年3月31日)				
1. 収入の部				単位: 円
	本年度	前年度	差 異	備 考
会費	600,000	600,000	0	現在正会員数92名、準会員7名 120名×5000=600,000円
賛助会費	610,000	1,120,000	▲ 510,000	日本色研事業50万、日本文教出版1万、色彩研究所10万
研修会参加費	140,000	0	140,000	6000×15名、10000名×5名
イベント企画参加費	15,000	15,000	0	一般10名×1,000円、学生5名×500円
販売収入	1,500	1,500	0	機関誌1部1500円
広告掲載料	20,000	20,000	0	機関誌広告掲載 賛助会員2件(半ページ)
雑収入	10	10	0	受取利息 三菱UFJ銀行
当期収入合計 (A)	1,386,510	1,756,510	▲ 370,000	
前期繰越金	2,371,474	1,568,992	802,482	
収入合計 (B)	3,757,984	3,325,502	432,482	
2. 支出の部				単位: 円
	本年度	前年度	差 異	備 考
事業費	990,000	690,000	300,000	
機関誌等発行費	500,000	500,000	0	色彩教育Vol.40
研修会開催費 中央研	100,000	0	100,000	研修会と総会はZoom開催
イベント企画開催費	100,000	100,000	0	DM送料等(84円×100枚=8,400円)、会場費、教材費等
支部研修会助成費	200,000	0	200,000	九州地区100000円、近畿100000円
委員会活動費	60,000	60,000	0	企画・広報・教材 各2万円
広報費	30,000	30,000	0	HPドメイン更新料、サーバー使用料
管理費	84,000	114,000	▲ 30,000	
印刷費	10,000	10,000	0	会費請求用紙印字等
運搬通信費	45,000	45,000	0	通信事務連絡、宅急便送料、振込手数料、切手代等
会議費	20,000	50,000	▲ 30,000	理事会はZOOM。事務局会議等、(理事会Web開催)
事務局交通費	2,000	2,000	0	事務局交通費
備品消耗品費	1,000	1,000	0	
委託作業費	6,000	6,000	0	事務会計処理代・会費請求・機関誌発送・名簿管理
雑費	0	0	0	
予備費	15,000	15,000	0	慶弔費等
当期支出合計 (C)	1,089,000	819,000	270,000	
当期収支差額 (A)-(C)	297,510	937,510	▲ 640,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,668,984	2,506,502	162,482	
合 計	3,757,984	3,325,502	432,482	

□審議事項1 <夏季研修会について>

九州色彩教育講習会 オンライン講座（内容）

日本色彩教育研究会 九州支部主催

開催日時 2021年8月25日（水）10:00- 15:30（12:00-13:00の昼休憩を挟みます）

開催方法 オンライン開催（ZOOM）

定員 20名（定員になり次第申し込みを締め切ります）

参加費用 会員 参加費無料+材料費500円（合計500円）

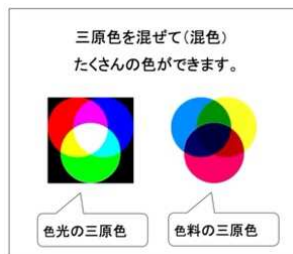
非会員 参加費1500円+材料費500円（合計2000円）

申し込み方法 日本色彩教育研究会HPより <http://www.shikikyo.jp>

開催内容

- 1 開会式 10:00-(10分)
- 2 講座1 「生活とつながる色彩理論」 講師：香月秀子（福岡市警固中学校） 50分
- 3 講座2 「色水あそび！色を混ぜてまなび・楽しむ」 講師：吉川暢子（香川大学）60分
（12:00-13:00の昼休憩を挟みます）
- 4 講座3 「まわるまわる色が変わる～ぶんぶんゴマで混色を楽しもう～」講師：篠原利朗（福岡教育大学）70分
- 5 講座4 「からくりカードを作ろう～色と形の入れ替わり～」講師：古賀和博（中村学園大学）70分
- 6 閉会式 15:30（予定）

（＊講座イメージ）



講座1：生活とつながる色彩理論



講座2：色水あそび



講座3：まわるまわる色が変わる



講座4：からくりカードを作ろう

* 内容は変更になる場合もございますので予めご了承ください。

第44回九州色彩教育研究会 予算 (令和3年6月7日)

※収入総額 ¥ 2 4 4, 9 8 0

(収入内訳)

項 目	金 額	摘 要
繰 越 金	44,980	
会 費	40,000	2,000×20 人
材 料 費	0	
色研本部搬出金	80,000	
日本色紙協力金	80,000	
雑 収 入	0	
計	244,980	

※支出総額 ¥ 2 4 4, 9 8 0

(支出内訳)

項 目	金 額	摘 要
講 師 等 謝 礼	80,000	講師 80,000
同 上 旅 費	0	
同 上 宿 泊 費	0	
会 場 費	10,000	中村学園大学
教材 用具 材料 等 費	50,000	トータルカラー・カラードフォルム・配色カード等
会 議 費	0	
印 刷 費	10,000	案内状 チラシ
郵 送 費	50,000	郵便切手・宅急便 他
準 備 費	16,000	電話代・記録用紙・封筒代 他
実 行 委 員 旅 費	0	実行委員旅費 数回分
事 務 局 費	0	会長手当 事務局長 事務局
雑 費	5,000	
予 備 費	23,980	
計	244,980	

近畿色彩教育研究会オンライン講座企画

近畿色彩教育研究会の夏期研修会の内容および収支予算は現在検討中であり、夏休み中の開催は難しい状況。

オンライン講習が可能な外部講師を調べ中。決まり次第報告する。

本部夏期研修会オンライン講座(案)

☐ オンラインワークショッププログラム(案)

No.	時間	テーマ	講 師
1	10:00 11:30	PCCS とトーン(仮)	名取 和幸 (一財)日本色彩研究所 常務理事
2	13:00 14:30	色とジェンダー／色のダイバーシティ (仮)	島田 由紀子 國學院大學 人間開発学部教授
3	15:00 16:30	コロナ禍の中の生活と色彩(仮)	郡司 明子 群馬大学 教育学部准教授

審議事項 2. 刊行図書企画について

審議事項 3. 会の活性化について

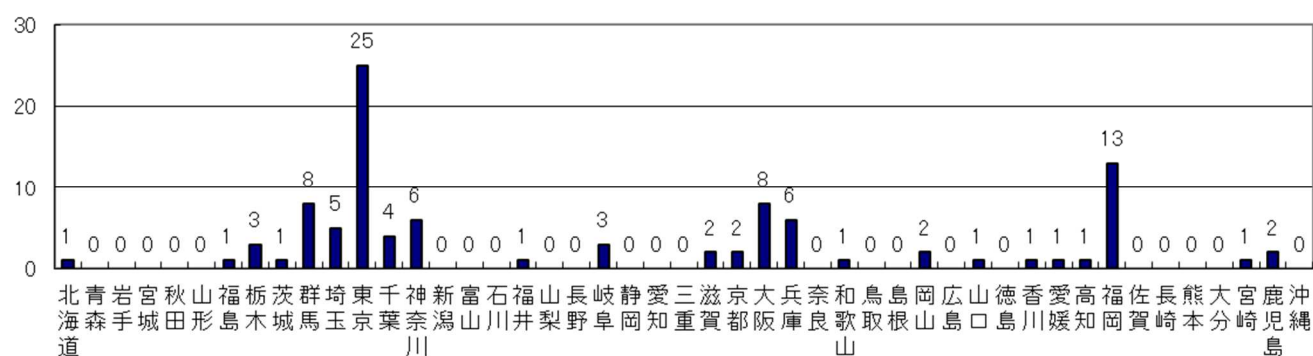
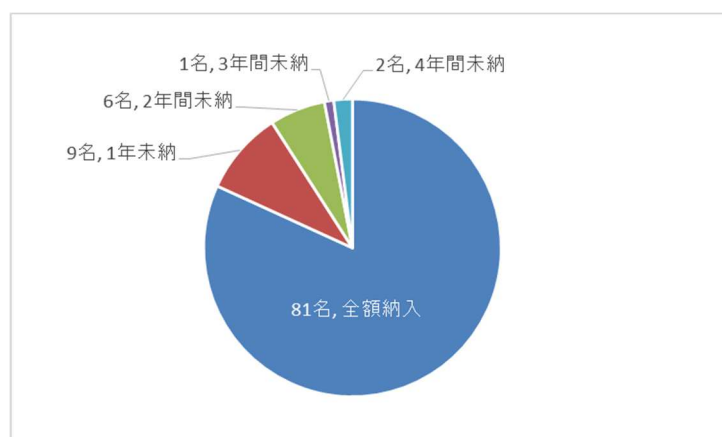
審議事項 4. その他

□会勢報告（2021 年 6 月 11 日現在）

賛助会員：1 社、正会員：92 名(男性 33 名、女性 59 名)、準会員：7 名（女性：7 名）

会員内訳

大学・短大	31
専門学校・高校	7
中学校・小学校・幼稚園・養護学校	14
企業・デザイン関係	14
色研事業株式会社・色彩研究所	7
教室	10
大学院	7
その他・指導者	9



□2021 年度改選理事案

2021年度改選理事案(～2023年度まで)			
	氏 名	所 属	
会 長	茂木 一司	跡見学園女子大学 文学部人文学科 教授	
副会長	後藤 雅宣	千葉大学 教育学部美術科 教授	
事務局長	赤木 重文	(一財)日本色彩研究所 日本大学非常勤講師	事務局
事務局	大内 啓子	(一財)日本色彩研究所 中京大学/日本大学非常勤講師	事務局
	穴澤 秀隆	NPO CCAA 市民の芸術活動推進委員会理事 國學院大學栃木短期大學講師	
	大橋 功	岡山大学大学院教育学研究科	近畿支部
	篠原 俊朗	福岡教育大学教授	
	山崎 裕彦	大阪府立港南造形高等学校 校長	近畿支部代表
	西村 德行	東京学芸大学准教授	
	島田由紀子	國學院大學 人間開発学部 教授	
	中島 千絵	玉川大学芸術学部ビジュアルアーツ学科准教授	
	手塚 千尋	明治学院大学心理学部教育発達学科専任講師	
	新関 伸也	滋賀大学教育学部美術教育教授	近畿支部
	吉川 暢子	香川大学教育学部准教授	九州支部
	名取 和幸	(一財)日本色彩研究所 東洋大学/文化女子大学非常勤講師	事務局
	名取 初穂	國學院栃木短期大学人間教育学科准教授	
	郡司 明子	群馬大学教育学部准教授	
	宮野 周	文教大学 教育学部発達教育課程 准教授	
	高橋 延昌	会津大学短期大学部准教授	
	香月 秀子	福岡市立警固中学校	九州支部
	森 香織	日本大学芸術学部デザイン学科教授	
新任	竹丸草子	特定非営利活動法人こととふラボ理事	
新任	笠原広一	東京学芸大学准教授	
新任	佐々木三公子	(一財)日本色彩研究所	事務局
監 事	水島尚喜	聖心女子大学文学部教育学科教授	
	松田陽子	Colour Institute MeMe代表、駒沢女子大学非常勤講師	

日本色彩教育研究会会則

第1条（名称） 本会は、日本色彩教育研究会と称し、英語名称を Japan Association of Color Education（略称 JACE）とする。

第2条（事務所） 本会は、事務局を一般財団法人日本色彩研究所（埼玉県さいたま市岩槻区上野4-6-23）内に置く。

第3条（目的） 本会は、広く色彩教育に関する研究を振興し、その普及・発展を図ることを目的とする。

第4条（事業） 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 色彩教育に関する研究・成果の公表及び研究の助成
- (2) 研修会、講演会、研究発表会などの開催
- (3) 機関紙「色彩教育」、ニュース「カラーサークル」等の発行
- (4) 内外の関連学術団体との交流
- (5) その他、本会の目的達成のために必要な事業

第5条（会員及び総会） 本会の会員は、次の4種とする。

- (1) 正会員は、本会の目的に賛同して入会申込書を提出し、理事会の承認を得た者とする。
- (2) 名誉会員は、本会に功労のあった者を理事会の議を経て決める。会費は不要とする。名誉会員の選任に関する規程は別に定める。
- (3) 賛助会員は、本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助するため、賛助会費一口以上を納める者または法人とする。
- (4) 準会員は、本会の目的に賛同し、入会申込書を学生証の写し、もしくは在学証明書添えて提出し、理事会の承認を得た者とする。

2 会員総会を毎事業年度1回開催する。

第6条（役員の種類、定数及び任期） 本会に次の役員を置く。

- (1) 理事 10名以上 25名以内。内1名を会長、1名を副会長、1名を常務理事、及び第9条に定める支部代表理事若干名とする。
- (2) 監事 2名

(3) 役員の任期は3年とする。ただし重任は妨げないものとする。欠員補充によって就任した役員の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

第7条（役員の選任、職務等） 役員の選任及び職務は次のとおりとする。

- (1) 理事は、総会員の推薦を含めて理事会案を提案し、総会の承認を得るものとする。
- (2) 会長、副会長及び常務理事は理事のなかから互選により選任する。
- (3) 会長は本会を代表し、会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。常務理事は事務を総括する。
- (4) 監事は、理事会において選任し、本会の事業および会計の監査に当たる。

第8条（理事会） 理事会は、通常の理事会及び臨時理事会の2種とする。

2 理事会は会長が招集し、議長となる。

3 通常理事会は、年2回開催し、研究、事業、予算、決算の報告並びに決議、役員の選出、会則の改正、その他必要事項の決議を行う。

4 臨時理事会は、理事の請求があったとき、もしくは会長の発議によって、会長が開催を決定する。臨時理事会は、電子媒体による投票等に代えることができる。

5 決議は理事の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

第9条（支部） 必要な地区に支部を置くことができる。

2 支部設立に当たっては次の条件を満たしていることとする。

(1) 当該地区在住の会員10名以上の賛同が得られていること。

(2) 地域に根ざした色彩教育の実践の研究発表等、及び研修会を定期開催（年1回以上）するための運営母体として組織されていること。

3 支部には支部長1名を置く。支部長は、支部所属の会員のうちから選出し、理事会の承認を経て支部代表理事とする。支部長は支部を代表する。

第10条（事務局） 本会に、その事務を処理するために事務局を置き常務理事を事務局長とする。

第11条（事業年度） 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第12条（会則の変更） この会則は理事会の議を経て、総会の決議によって変更することができる。

附則

1 入会手続き

入会を希望する者は所定の入会申込書に年会費を添えて申し込むものとする。

2 退会は次の3項によって理事会で審議し決定する。

a.会費を2年間滞納した者

b.会の名誉を毀損した者

c.退会を申し出た者

3 会費

正会員の年会費は、5,000円とする。

準会員の年会費は、1,000円とする。

賛助会員の年会費は一口1万円とする。

平成17年7月一部改正

平成23年8月一部改正

平成23年9月一部改正

平成24年3月31日一部変更（改正）

平成24年4月1日施行

平成24年5月27日一部改正

平成29年6月18日一部改正

令和元年5月11日一部改正